

キャリア・就職支援課より

本年度もコロナウイルス感染拡大のため、学生の皆さんは大きな不安を抱えての就職活動となりました。それでも「保育者になりたい」という目標実現のため、意欲的に就職活動に取り組んでいます。キャリア・就職支援課は教員と連携して、そういった学生の目標を実現するため、積極的な支援を行っています。

個人面談は、1年次(12月)と2年次(5月)に全学生を対象に実施します。将来の希望進路を確認し、親身になってアドバイスをしています。もちろん面談期間以外でも、就職相談全般、履歴書・作文添削、模擬面接・GD対策などいつでも対応しています。

就職ガイダンスは、6回実施します。1年次は主に就職意識を高めることを目的とします。2年次は例年7月に開催される「栃木県幼稚園教諭就職説明会」「宇都宮市私立保育園就職説明会」に向けて、更に、この時期から本格化する就職活動に直結する実践的な内容を取り上げます。

求人情報や資料も充実しています。なかでも、卒業生の「就職活動報告書」は学生に多く活用されています。相談しやすく利用しやすい雰囲気づくりを心掛けていますので積極的に来室してほしいと思います。

キャリア・就職支援課 平澤 祥久

就職ガイダンスの内容

- 1年次**
- ・「学生生活と就職活動」
 - ・「登録票・個人面談について」
 - ・「内定者報告会」

- 2年次**
- ・「履歴書の書き方」
 - ・「マナー講座」
 - ・「就職説明会事前説明会」

内定者報告会

2021年12月21日実施



本学では、大学で学びたいという強い意志があるにもかかわらず、経済的な理由で学業継続が困難な学生をサポートするため、様々な奨学金制度を扱っています。ここに記載されていない奨学金もありますので、奨学金が必要となった場合はお気軽に学生課までお問い合わせください。

《日本学生支援機構奨学金》

①給付・授業料減免新制度

※住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯が対象

新給付制度紹介HP 進学資金シミュレーター



②貸与奨学金制度

※無利子の第1種と有利子の第2種があり卒業後には返還が必要

貸与奨学金紹介HP 貸与・返還シミュレーション



◇申請資格等の詳細は、QRコードのHP等から確認してください。

◇毎年4月上旬に希望者説明会を実施予定。日程等詳細は掲示板等で案内します。

【奨学金に関する問い合わせ先】

学生課
(電話)028-670-3641
(E-mail)gakusei@sakushin-u.ac.jp

●希望者説明会:各都ごと4月のオリエンテーション中で実施

令和3年度学位記授与式

2022年 **3月20日** 日

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部
第2体育館(大学・短大合同)

午前10時～(受付午前9:00～)



【出席される方へのお願い】

- ① 次の症状が一つでも出ている場合は出席しないでください。
 - ・カゼの症状や37.5度以上の発熱がある場合。
 - ・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある場合。
 - ・味覚や嗅覚に異常を感じた場合。
- ② 事前に必ず検温を行い異常がないことを確認し、健康観察シートに記録をとり当日持参してください。
- ③ 自家用車で来校の場合、友だちとの相乗りは自粛してください。
- ④ スクールバスを利用する場合には、車内での会話は控えてください。
- ⑤ 出席の際は必ずマスクを着用してください。



SAKUSHIN

作新学院大学女子短期大学部
2022 Vol.24 後援会報



ハロウィンパーティー



学外オリエンテーション



クリスマス会



グループワークキャンプ



尖戸 良子先生



幼稚園実習



スポーツ大会



幼稚園実習

SPOTLIGHT

幼稚園実習

子どもたちの真の姿にふれ、保育者として人として成長していきます。

CONTENTS

- * 後援会長・学長・科長メッセージ
- * 教員紹介
- * イベント&トピックス
- * お知らせ...etc





作新学院大学女子短期大学部
後援会長 水沼 正好



作新学院大学女子短期大学部
学長 渡邊 弘



作新学院大学女子短期大学部
幼児教育科長 青木 章彦

会員の皆様には日頃より後援会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。当後援会は、学生の皆さんが充実した生活を送れるよう環境を整え、将来幼児教育に貢献していくことができるよう教職員の方々と協力しながら支援をさせていただいております。

しかしながら令和3年度も新型コロナウイルス感染症の発生が継続し、この原稿を書いている時点では第6波の急激な拡大により、心配が絶えない状況となっています。短大生活のほとんどをコロナ禍の中で過ごすことになる年代があることは残念に思いますが、このような困難な状況でも熱心に指導して下さった教職員の方々、見守って下さった保護者の皆様には心より感謝致します。

今後とも会員の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

後援会の皆様には、日頃より学生への修学支援、課外活動支援、応急特別奨学金等の物心両面にわたる温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

本短大は、今年創立から55年目を迎え、さらに充実発展しています。現在保育士の役割が喫緊の課題として重要視される中で、本短大では19年連続就職率100%を誇り、多くの有能な保育士を輩出しています。近年では、公立保育士の合格者も増加しています。また、コロナ禍の中で、2年間は「わいわいひろば」を開くことはできませんでしたが、今年度はさまざまな工夫をしながら地域に引き続き貢献していきたいと考えています。

今年度も、コロナに負けず、輝かしい伝統を受け継ぎながら、更なる発展を目指し、学生と教職員が一丸となって、次代のニーズにこたえて参りたいと考えておりますので、今後とも、皆様の温かいご支援とご指導を宜しくお願いいたします。

後援会の皆さまには、日ごろより本学および短大生の学生生活のご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

春は旅立ちの季節です。卒業生は社会に、在學生は飛躍の年に、新入生は新たなキャンパスライフに。全ての作短生に心からのエールを送ります。

本学のカリキュラムは、両免取得を目指すように意図されており、毎年、卒業生の殆どが両免取得を達成し、殆どの卒業生が専門就職を果たしています。特に、令和3年度は、1名が公務員試験を突破して、この4月から公立保育士になります。また、令和元年度から公務員講座が始まりました。これまで以上に、保育者の育成に力を入れてまいります。

令和3年度は、コロナ禍で、前期・後期を通して、対面を基本としながら、オンラインをミックスしたハイブリッド授業となりました。その中でも、作短生は、勉学に熱心に取り組みました。令和4年度は、コロナ禍とアフターコロナを見通して、基本的にはハイブリッドで計画していますが、令和3年度の成果を踏まえて、よりよい授業となるように努めてまいります。

私たち教職員一同は、一丸となって作短生のキャンパスライフを、全面的にサポートしています。

後援会の皆さまには、今後とも本学への変わらぬご支援をお願い申し上げます。

幼児教育科 担当教員



准教授 宍戸 良子
講師 山本 詩織

※撮影のため、マスクを外しています。

後列 准教授 藤村 透子 准教授 長澤 順 准教授 設楽 紗英子 講師 横井 夏子 准教授 花田 千絵 准教授 井上 修

前列 講師 矢野 善教 教授 久野 高志 教授 西田 直樹 学長 / 教授 渡邊 弘 科長 / 教授 青木 章彦 教授 坪井 真 事務局長 山田 卓徳

Pickup 教員紹介



作新学院大学女子短期大学部
准教授 宍戸 良子

保育者養成校に勤めて12年目になります。コロナ禍における授業は、挑戦と再構築の日々です。120数名が共に学び合える本学ならではの強みを活かすことを意識して授業を行っています。オンラインの部分的活用によって、対面授業だけでは実現しなかったクラスの垣根を越えた情報の共有、課題に取り組む過程や個々の意見の見える化など、より深い学びの方策に出会うことができました。未曾有の事態の中でも、明るくユーモアあふれる発想力に満ちた学生たちと共に、新しい時代の授業・学び合いを模索していきたいと思っています。



【経歴】福島大学大学院教育学研究科学校教育課程学校教育専修。2010年より桜の聖母短期大学・助教、2013年より大阪国際大学短期大学部・専任講師を経て、2016年4月より作新学院大学女子短期大学部に勤務。主な著書に「子どもの育ちをとらえるラーニング・ストーリー」(北大路書房、2018)等がある。

私の近年の仕事では、装丁デザイナーの高岡一弥氏らとチームを組んで2017年にPIEインターナショナル社から出版した『HELL(邦題:「地獄をみる」)』があります。この本は日本国内でも販売されていますが、本文が英文対訳付で、アメリカや中国を中心に読まれている本です。2021年には第3刷が出されており、おかげ様でロングセラーとなりました。本書を通じて、日本人の善悪観念の歴史の一端を外国の人々にも知っていただければと願っています。

江戸時代の地獄絵本の研究を始めたきっかけは、学部時代に大学図書館で学界未紹介本だった元禄2年(1689)版の『往生要集』の絵入版本を発見したことです。その後、研究範囲を江戸時代全期間に広げて、寛文3年(1663)から嘉永年間(1848～1853)に出版された諸本の詞章と絵の分析と系統化を行いました。研究の中で諸本全体を括る「仮名書き絵入り往生要集」という呼称を作り出し、その後も研究発表や論文の中で使い続けています。前述の『HELL』の中でも「The Illustrated Essentials of Rebirth Written in Kana」と英訳して使っています。

さて、私が立てた諸本の系統論は、その後反論は出されず約20年が経ちました。そろそろ「定説」と言ってもよい段階ではないか…などと考えています。



地獄をみる

私は、ソーシャルワーカーとして十数年働いた後、教育・研究分野に転職しました。作新学院大学女子短期大学部では『子ども家庭福祉』や『子育て支援』などの科目を担当しています。担当科目の授業をとおして、学生の皆さんには「社会とのつながり」を重視する保育・幼児教育の専門職(以下「保育者」といいます)をめざしてもらいたいと考えています。

私たちが生活するうえで「社会」は必要不可欠な存在です。そして「社会」の最小単位は保育者に関わりが深い家族なのです。たとえば、保育者が子どもの育ちや学びを支え、ご家族を支援する際、家族の機能(はたらき)という側面から、様々な困りごとの解決に向けた支援を考える必要があります。

具体的には、子どもにとって最も身近な「社会」である家族を丸ごと支えるため、保育者は子育て(養育面)以外の家族の機能(はたらき)も重視します(図をご参照ください)。さらに保育者は、子どもの育ちや学びを支えるだけでなく、家族という社会の最小単位と地域社会を結びつける役割も担っています。

このように学生の皆さんが学ぶソーシャルワークと社会福祉は、保育者が「社会」である家族を支え、地域とつなぐスキル・知識なのです。



さくら市民大学での講義

EVENT 2021



入学式 4/5(月)

4月5日(月)、作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部の入学式を挙行し、444名(大学 302名、短期大学部 121名、大学院 21名)の新入生が入学しました。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典の出席者を新入生のみとし、式典時間を短縮して実施しました。入学式の挙行に際しまして、関係の皆様のご理解とご協力をいただきましたこと、また、たくさんの方の祝詞・祝電を賜りましたことを重ねて御礼申し上げます。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのこれからの学生生活が実り多きものになりますよう、教職員一同、全力で皆さんを応援しています。



学外オリエンテーション 4/23(金)

4月23日(金)、短大幼児教育科の「学外オリエンテーション」が行われました。今年度は、徹底した感染対策を実施したうえで、栃木県日光市の「日光霜降高原 大笹牧場」と「東武ワールドスクウェア」を巡りました。移動のバスの中では、2年生が1年生に手遊び指導をする等の交流もあり、保育者をめざす仲間同士の絆が深まるイベントとなりました。



短大1年生の歓迎会 4/29(木)

4月29日(木)、短大1年生の歓迎会が本学第2体育館アリーナで行われました。2年生が幼児教育科伝統の手遊びを取り入れたスタンプ(寸劇)を企画・実施し、1年生の入学を歓迎しました。新型コロナウイルス感染対策をとりながらの歓迎会であったため、様々な制約はありましたが、2年生の精一杯の演技に最初緊張気味だった1年生にもたくさんの笑顔があふれました。様々な行事で協力することの多い短大生は、こうして絆を深めてゆきます。「新2年生は昨年度様々な行事が中止になり、先輩方のお手本を見ることが少ないなか、本当に頑張った。」と先生方も感慨深い様子でした。



ボランティア活動 5/8(土)

5月8日(土)、宇都宮市立南図書館おひさまひろばで「手あそび・読み聞かせ・エプロンシアター」のイベントが行われ、短大2年生の学生3名がボランティアで参加しました。表現の授業で学んだ手あそびやエプロンシアターを子どもたちの前で披露し、子どもたちのマスクの下が笑顔にあふれているイベントとなりました。参加した子どもたちは、終わってからもエプロンシアターに触れてみたりと興味津々の様子でした。



七夕祭り 7/1(木)

7月1日(木)、保育者をめざす幼児教育科の学生による「七夕祭り」が開催されました。学内に展示された壁面飾りの数々は、子どもたちに喜ばれる素材やデザインを工夫しながら、学生がクラス毎に協力して制作したものです。当日は浴衣姿で過ごすことで、日本らしい季節感や文化を学びました。七夕祭りの行事を学ぶことは、将来の保育者として、子どもたちに日本の伝統文化を伝えるための貴重な経験となりました。



学内クリーン活動 7/15(木)・16(金)

7月15日(木)と16日(金)の昼休み、幼児教育科の学生による「学内クリーン活動」が行われました。この活動は、学内環境の改善を目的として、学生自身が企画した清掃活動です。今年度は感染防止策を講じて、クラス別に2日間に分けて実施し、駐車場のゴミ拾い、教室の窓ガラスや机、椅子の拭き掃除、体育館や階段、靴箱の掃除等を行いました。同じ目的を持つ仲間と協力して自主的に活動することで、夢の実現に欠かせない社会性や協調性、ルールやマナーを身につけていきます。



グループワークキャンプ 10/22(金)~23(土)

10月22日(金)～10月23日(土)に短大幼児教育科1年生の「グループワークキャンプ」が実施されました。例年、栃木県内のキャンプ場で宿泊を伴って実施している行事ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年に続き、今年も日帰りで学内や本学周辺の公園で実施されました。活動に制限のある中で、1年生は2年生に協力してもらいながら精一杯工夫し、様々なゲームやコンテスト、体育館の中で模擬キャンプファイヤーを囲んでスタンプ等を行いました。この経験でチームワークやコミュニケーションの大切さを学ぶことができました。今後の保育者としての人生において、糧となる経験となったことでしょう。



赤十字幼児安全法短期講習会 10/25(月)

10月25日(月)に、幼児教育科の1年生を対象に、災害救護訓練の一環として日本赤十字社主催の「赤十字幼児安全法短期講習会」を実施しました。新型コロナウイルス感染症の流行により、災害救護訓練の総合演習は見送られましたが、学年を3グループに分けて実施するなど、感染防止対策を取りながら、本学の災害発生時の対応や乳幼児の一次救命措置(心肺蘇生法・AED)等について学習しました。



ハロウィンパーティー 10/28(木)

10月28日(木)に短大友会主催のハロウィンパーティーが開催されました。昨年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、例年より規模を縮小して開催しておりますが、思い思いの仮装をし、クラスごとのダンスやビンゴ大会を楽しみました。授業の他に実習等で忙しい短大生ですが、束の間のひととき、イベントを精一杯楽しみました。



スポーツ大会 11/20(土)

11月20日(土)、幼児教育科にて「スポーツ大会」が開催されました。スポーツ大会は、短大生同士の交流を深めることが目的です。今年度の種目は、バドミントン、ドッジボール、バレーボールなどの球技や、毎年恒例の綱引き、リレーなど。クラス対抗で白熱した戦いが繰り広げられ、笑顔溢れる大会となりました。



クリスマス会 12/23(木)

12月23日(木)短大友会主催のクリスマス会が開催されました。クリスマス会ではハンドベルクワイアの演奏、クラスごとの歌や楽器の演奏、ゲーム、プレゼント交換が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながらの開催となりましたが、笑顔の溢れる、楽しい会になりました。皆で壁面の飾りや衣装を手作りしたり、ゲームなどの企画を協力しながら考えたことは、将来保育の仕事においてきっと糧になることだと思います。

学友会 新会長

1年 野澤 結花 さん

この度学友会新会長を務めさせていただくことになりました野澤結花です。学友会会長として、作短の生徒が2年間という短い短大生活の中で、素敵なお思い出を作れるように行事等を通して盛り上げていきたいです。また、新型コロナウイルスの影響で制限されることがあるからこそ、アイデアを出しながら新しい形式で楽しめるものを実現させたいと考えています。1年間精一杯取り組んでいきたいです。1年間精一杯取り組んでいきたいです。よろしくお願いします。

子どもたちの真の姿にふれ、保育者として人として成長していきます。

実習施設 **仁神堂幼稚園**

幼稚園実習を 実施しました

実習施設 **都賀幼稚園**



幼児教育科 1年
川田 優奈 さん

※撮影のため、マスクを外しています。

私は、母園である「認定こども園仁神堂幼稚園」で13日間の実習をさせていただきました。初めての实習だったため、とても緊張し不安でしたが、子ども達が沢山話しかけてくれたり遊びに誘ってくれたりしたので、子ども達と積極的に関わることができました。また、園の先生方も暖かく迎え入れて下さり、優しく指導して下さいましたため、援助の仕方や配慮していること等様々なことを学ぶことができました。

今回の実習では、各クラスを回ってから担当の4歳児クラスに入らせていただきました。満3歳児クラスから5歳児クラスまで全てのクラスに入らせていただいたことで、それぞれの年齢ごとの発達の様子や活動内容、保育者の援助の仕方の違い等、年齢ごとの違いを学ぶことができました。

実習を通して、保育の楽しさや難しさを感じるとともに、自分の課題やこれからやるべきことを見つけることができました。今回の実習で学んだことをこれからの実習や学びに活かし、一人ひとりの子どもに寄り添うことができる、立派な保育者になれるよう頑張りたいです。

私は、「認定こども園都賀幼稚園」で13日間の実習をさせていただきました。初めての实習ということもあり、最初はとても緊張して子どもたちどう接したら良いかわからずにいました。しかし、園の先生方の親身なアドバイスや、私の名前を覚えて積極的に関わろうとしてくれる園児の姿を受けて、徐々に自然な声掛けをすることができるようになりました。

計6クラスに入って実習を行う中で、絵本の読み聞かせをさせていただく機会がありました。緊張していたせいか、初めは読むスピードや本の角度が上手く調節できずにいました。しかし、読んでいくうちに安定した読み方ができるようになり、子どもたちと共に絵本の世界を楽しむことができました。このような体験を通して、自分に不足している知識や技術は何かを知り、これから身につけるべき能力の多さを改めて実感しました。

大変なご時世の中で受け入れていただいた今回の実習で得た経験を糧に、これからも勉学に励みたいです。そして、子どもや保護者に寄り添い、信頼される保育者になりたいです。



幼児教育科 1年
早川 仁那 さん

※撮影のため、マスクを外しています。



学校法人 仁神堂教育会 認定こども園 仁神堂幼稚園



教育目標 優しく賢い元気な子
優しく：人との関わり 人間関係づくり
賢い：自分自身のこと 自己有用感
元気な子：健康な心と身体 体力

広い園庭と隣接する森の中のミニアスレチックを活用し、異年齢で交流しながらのびのびと遊ぶことのできる幼稚園です。

所在地：〒322-0003 栃木県鹿沼市仁神堂町37-81
ホームページURL <https://www.nigamido.ed.jp>

学校法人 大塚学園 認定こども園 都賀幼稚園



『全ては子ども達の笑顔のために』（子どもを信じ、子どもを愛し、子どものために尽くす）

都賀幼稚園は子ども達の可能性を大きく広げるための大切な幼児教育を一人一人の先生がこの言葉を真髓に日々、一生懸命保育しています。

本園では園舎や園庭、行事など様々な想いが込められています。が、ここでは伝えきれないので、是非HPをご覧ください。

所在地：〒328-0111 栃木県栃木市都賀町家中1889-1
ホームページURL <http://www.tsuga.ed.jp>